

今年も彼岸花が

きれいに咲きはじめる

本年もヒガンバナの季節がやって来ました。このように書いて書いて思っていたら、季節の巡りは早いもので、九月も半ばとなり、めっきり朝晩の冷え込みも進み、植物の世界では、秋の訪れを感じ取って、花芽を伸ばし始めたのです。

彼岸花は、球根の植物ですから、大地の温度の変化で秋を感じ取り、花芽を伸ばすのですが、季節の良い春から夏にかけて、葉を茂らせ成長する。一般の植物とは違って、春から夏の間は葉を落として、球根だけで土の中で眠り続け、秋の訪れと共に、花芽を伸ばし

絶景 花の寺14カ所

太田 常楽寺で写真展



花で彩られた境内の写真が並ぶ常楽寺

関東地方の花木の名所として知られる「東国花の寺百ヶ寺」の一つ、太田市上田島町の常楽寺(本城亮俊住職)は28日まで、境内のうすさまじ明王堂で、県内

エテや上品なアヤメなど境内を彩るさまざまな植物の写真が並ぶ。宝積寺(甘楽町)のシダレザクラや柳沢寺(榛東村)のツバキなどの写真も見応えがある。

本城住職は「それぞれの寺の特徴がよく表れた展示になった。現地にも足を運んでみてほしい」と話している。問い合わせは常楽寺(0276・31・0001)へ。

常楽寺も、境内一面に彼岸花が開花し始めました。境内は朝早くからカメラを構えた人達や

花の寺14ヶ寺写真展は 9月28日(日)までです

彼岸花を見に来られる人たちで大変賑わっています。また、上記のように、「上毛新聞」で報道されたように、今、常楽寺では群馬県内の花の寺十四ヶ寺の写真展を開いています。常楽寺の四季の写真と共に、彼岸花で真っ赤に染まった境内を見ていただければと思います。ぜひお出かけください。

て活動を始めるのです。
「曼珠沙華あればかならず
むちうたれ」(高浜虚子)「曼珠沙華きえた
るくきのならびけれ」(後藤夜半)「老農の鎌
に切られて曼珠沙華」(西東三鬼)「刻まれし
ごとく打たれぬ曼珠沙華」(星野立子)など、
多くの歌人が読んでいるように、かつては、
曼珠沙華が花開くと、鞭で打たれたり、刈り
取られたりし、また、子供たちがしの竹を振
りまわして、花芽を切り取ってしまいまし
た。

この辺でも、「シヤンボンバナ」と呼んで大
変嫌われた花でしたが、最近は彼岸花が咲
くと、たくさんの人たちが訪れるのです。

常楽寺
だより
26年
9月20日